

スイートバジルの水栽培 みずさいばい (参考) さんこう

※必ずこうしなければならぬというものではありません。



バジルの種約90粒を、この容器

(1.5 mlマイクロチューブ)に入れてお届けします。

◆はじめに用意するもの

・スプラウトや果物などが入っていた容器 (ふたつきが望ましい)

・台所用 スポンジをカットしたもの、またはロックウール

※国際宇宙ステーションでの栽培にはロックウールを使いました。



ロックウールはホームセンターなどで買えます。

・つまようじ

・作業用の水 (少して十分)

・バジルの種

・肥料を溶かした水

・はさみ、千枚通し、カッター、定規、油性マジックなど

※肥料は水栽培用のものを指定に従って薄めてください。

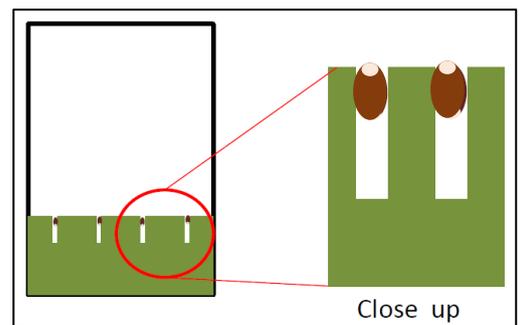


◆タネのまき方

① スポンジに種をまく自安の印をつけ、カッターで軽く切り込みを入れる。

あとで植え替える場合はサイコロのように切っておくとよい。

② 種のへそ(白い部分)を上にして、スポンジの切り込みに置く。



つまようじの先に水を少量つけて種をくっつけるようにすると取りやすい。

奥に押し込まないように

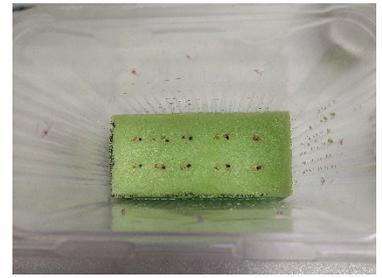
③ 容器の中にスポンジを入れる。ここで全体の重さを測っておくとよい。

④ 肥料を溶かした水をスポンジ全体に十分しみわたる位含ませる。

ここでまた重さを測って、写真も撮っておこう。

⑤ 容器のふたと側面に空気穴をあける。ふたのない容器の場合はラ

ップをかぶせ、ラップに穴をあける。



◆育て方

・栽培容器は室内の日当たりのいいところか、照明の下に置く。

・観察して記録を取ろう。

いつ・何本・芽が出たか、葉の数、茎の長さ、(もしわかれば)室温



など、気がついたこと。

・スポンジの底から根が出たら、ペットボトルなどに植え替えても

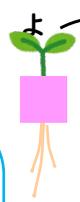


ペットボトルを飲み口から

全体の1/3位のところで切

り離し、飲み口のところに芽

の出たスポンジを差し込む。



水の量は、根の先から

2/3位がつかないように

調整する。

ペットボトルの残りの部分

に肥料を溶かした水を入

れ、飲み口が下になるよ

うに差し込む。

◆備考

・条件にもよりますが、種まきから発芽までは3日から2週間程度かかります。

・発芽には日光が必要なので、日の当たる場所に置いておきましょう。スポンジが乾きすぎないようにしましょう。

・肥料を溶かした水が残ったら冷蔵庫にしまっておきましょう。

・ペットボトルで栽培する場合、水の入っているところまでアルミホイルなどをまいて日光をさえぎると、藻が発生しにくいです。

◆ISSの実験に近づけたい人は以下を参考にしてください。

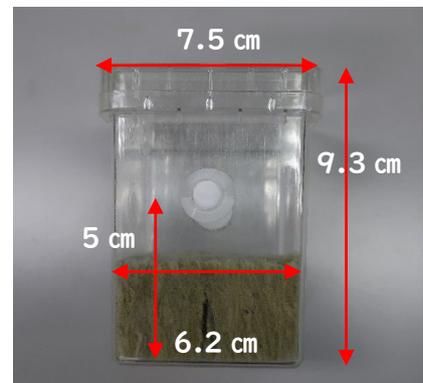
・プラントチャンバー(栽培容器)のサイズ：

上底面：7.5 cm×7.5 cm

下底面：6.2 cm×6.2 cm

高さ：9.3 cm

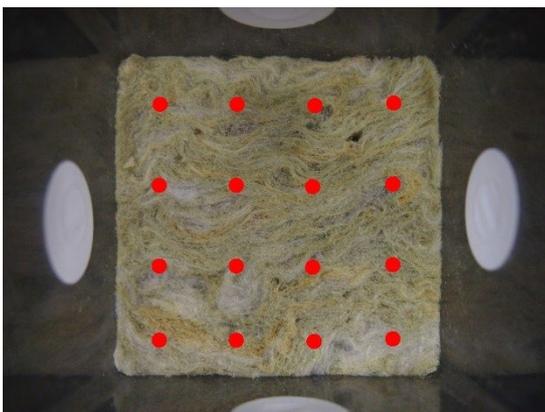
(空気を通すシールが貼ってある穴までの高さは約5 cm。)



栽培する容器を、市販のスプラウトやカイワレ大根の容器などから

探して、サイズの近いものにするとう気分が上がるかもしれません。

・栽培期間：ISSでは1か月で行いました。でも皆さんはもっと長く育ててみてください。



※参考：

宇宙飛行士の野口さんが国際宇宙ステーションで使った

プラントチャンバーには、左の写真の赤い点のところに種をまいています。

・写真を撮るときは、下のように撮ってみよう。



◆^{しょうめん}正面から
^{といあわせ}お問い合わせ



◆^{しょうめん}正面のクローズアップ



◆^{うへ}上から

JAXA ^{うちゅうきょういく}宇宙教育センター うちゅうのたね 2022

メールアドレス: uchuunotane2021_edu@jaxa.jp



メールアドレス

◆^{そだ}育てている ^{ようす}様子を ^{とうこう}投稿してきましょう。

◆^{ツイッター}Twitter #うちゅうのたね:

「#うちゅうのたね」、

「#spaceseeds」を入れて ^{とうこう}投稿してね。



#うちゅうのたね